

党市議団が県に求め実現する

日本共産党日田市議団が昨年10月に大分県に求めていた地域要望が、ひとつひとつ実現しています。県道の側溝改良工事、河川にたまった土砂をさらう工事が年明けから始まっています。

日本共産党日田市議団は昨年10月、堤岸二県議、猿渡久子県議とともに大分県に地域の要望の実現を求めています。

しよに要望していた県道の側溝改良工事が年明けから始まっています（上の写真）。

日隈市議が地元住民といっ

玖珠川の支流のひとつの合衆川の川底の土砂をさらえる工事は、2月から始まります。川底に土砂がたまっていくため、豪雨のときに河川が氾らんし、住家の浸水のおそれがあり、日隈市議が住民から要望を受けていたものです。

女子畑農業用水路は、令和2年7月豪雨でトンネルの一部が陥没したため、災害復旧工事が行われています。工事が終わるのは令和6年2月で、それまでは米作りが全体面積の4分の1しかできない状況が続きます。来年春の作付けから元どりの米作りができるよ

うになります。しかし、ハウス栽培農家は、県による水路トンネルの補強工事が令和6年10月から令和7年4月まで行われるため、栽培に必要な水を別に確保する負担が増えます。日隈市議は「災害復旧工事といっしよの時期に県の工事はできないのか」との要望を受け、県に求めました。

県は「水路トンネルの上流側が急峻な地形の山腹に位置しており、上流側からの施工機械や資材搬入が困難であることから、災害復旧工事後、水路トンネルの下流側から工事を行う計画にしている。工事期間中の施設園芸への用水供給は、仮設ポンプにより必要な量の供給を行う」と回答しました。日隈市議は「引き続き、農家の要望を聞き、県に求めている」と話しています。



▲県道の側溝にふたをかける工事（天瀬町本城）

しゅんせつ 県道の側溝改良、河川の浚渫工事

地域要望
実現

補助の申請、まだ間に合います

日田市は18日、中小企業者（農林業を含む）に対する物価高の緊急支援を3月15日まで申し込み期間を延長することを発表しました。補助する対象経費は、電気、ガス、ガソリン、軽油、重油、灯油です。

中小企業者等に対する物価高の緊急支援は、昨年9月議会に補正

予算として決まったものです。予算額は約5億円で、中小企業者、農業者に対し、電気、ガス、燃油などの値上がり分の2分の1を補助します（上の図）。

現在、1073件の申し込みがあり、補助金の合計は1億1442万円となっています（1月16日現在）。申し込み締め切りを1月末にしていますが、3億円以上の予算が残っており、補助の申し

込みを3月15日まで延長することとなりました。

日本共産党日田市議団は12月議会、この補助金を申し込める対象が、税金を完納している中小企業者、農業者に限っていることを批判し、他市の例も示し、物価高とコロナ禍の中で税金を払いたくても払えない中小業者にも補助するよう求めています。その後、市は補助金の案内チラシを改善し、「税金の徴収猶予の手続きをしている方も対象となります」という注意書きを小さく入れていきます。新しい案内チラシを配布して342件（3579万円）の申し込みが増えていきます。申請できるか迷ったら、ご相談ください。

物価高の緊急支援 電気・ガス・燃料の経費に補助

申請できるか迷ったら ご相談を!

電気・ガス・燃料等の経費が月額10,000円以上の事業者が対象

申請期間 令和5年 3月15日(水)

支援金額 最大 20万円

申請期限
延長!

- ※補助率は上昇分の2分の1
- ※1事業者1回のみ申請
- ※1万円以上支援金額があること
- ※徴収の猶予制度で承認を受けた方も対象となります。

▲日田市公式LINEの画像から作成。